

# 諸福小だより

大東市立諸福小学校  
令和2年7月31日(金)  
校長 小林 享子  
072-873-5816

## 一日一日を大切にしてお有意義な夏休みを！

22日、27日、28日の3日間の期末懇談会にお忙し中、ご来校いただき、ありがとうございました、

1学期のスタートが遅れ、遠足の延期等、子どもたちにとって、楽しみにしている行事が全てできないという、残念な1学期でした。

今年は新型コロナウイルス感染症のため、少し遅れて夏休みが始まります。例年より短くはなりますが、今までの学習や生活を見つめなおし、新学期に備え志を新たに準備する絶好のチャンスです。この4月以来休校が続いたりしていましたが、お子様の健やかな成長を支え、本校の教育にご協力下さりありがとうございました。ご家庭でもあゆみをご参考にされ、お子様がよりよく伸びる話題と励ましの材料にしていただければと思います。

さて、江戸時代の儒学者である新井白石のエピソード「一粒の米」があります。有名な話ですからご存知のことと思います。新井白石が子どもの頃、父親から言われたことです。米びつから米を米一粒取っても、入れても量の変化は変わらない、一日勉強したから利口になるわけでもない、一日怠けたら愚かになるわけでもない、しかし、1年、2年と続けていれば必ず変化が見えてくるという内容です。期間は19日間ほどですが、夏休みの過ごし方も同様ではないでしょうか。得意な学習を伸ばす、苦手な学習を克服する。家の手伝いを決めて継続する、朝、起きる時間を決めて規則正しい生活を続け……。何か続けられるものを見つけ、この夏休み中に続けられれば必ず得るものがあります。継続できるものは、二学期が始まってからも続けられるとさらに素晴らしい。

子どもたちは何より楽しみにしている夏休みですが、この時期子どもにかかわる海や山の事故、交通事故、熱中症により重篤な状態に陥る等、残念ながら毎年日本各地で発生しています。特に、旅行先、帰省先等、日常と異なる環境にある時は注意が必要です。今年の夏休みは、水泳指導も、夏祭りもありませんが、新しい生活様式の中で、新型コロナウイルス感染症の防止を徹底し、時には美術館や博物館等に行ったりと、ゆとりを持って過ごしたりとお子様にとって有意義な夏休みにしていただければと思います。これまで身につけてきた規則正しい生活のリズムを大切に維持し、夏休みの経験が二学期からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますようお願いしております。

